

CSR活動報告（各CSRガイドラインの活動報告）

製品の品質と安全

製品の品質保証と安全の管理体制を強化し、適切な情報提供に努め、安全で信頼性の高い製品を供給します。



基本的な考え方

東レグループは、「品質の東レ」「お客様第一の東レ」を具現化するために、品質保証と製品安全のそれぞれについて方針を定め、両者を一体のものとして進める体制を整備しています。

また、東レグループでは、さまざまな製品・サービスの特性に応じて製品安全情報を提供しています。お客様に対しては、基本理念として「消費者の8つの権利」を尊重し、具体的活動の中で、製品の品質と安全の確保に努めています。

製品の品質と安全の確保は、東レグループが「持続的かつ健全な成長」の実現を目指し「革新と強靱化の経営」を掲げた中期経営課題“プロジェクト AP-G 2025”の達成において、礎となる重要事項です。そのため、2023年度も個々の改善課題に取り組み、施策を遂行しました。

関連する方針等

東レグループ品質方針 2007年6月改定

全ての企業活動において、安全・環境と共に、お客様に提供する製品の品質を最優先し、「お客様第一」の姿勢で品質保証に取り組めます。

1. お客様の要望に応え満足いただける製品・サービスの提供に努めます。
2. 販売、生産、技術、研究等全部門は一貫して品質第一の思想に徹し、製品の品質と信頼性の向上に努めます。
3. 品質要求を達成するために、品質は設計と開発の段階で確立し、製造工程で作り込みます。
4. 品質保証体制を継続的に整備し、維持・向上に努めます。

製品安全管理の基本方針 1992年1月制定

1. 製品の安全性確保に必要な諸施策は優先して実施します。
2. 製品の販売に先立つ安全性評価検討を十分に行います。
3. 販売を開始した製品についても、一般・顧客情報に留意し、常に安全性に関する注意を怠りません。

関連情報

化学物質管理については、こちらのページをご覧ください。

[> 化学物質管理](#)

体制

品質保証活動の推進体制

東レ（株）の品質保証活動の推進体制は、下図のとおりです。取締役会で品質保証本部の活動状況の報告を行い、指示を受けて品質保証本部の品質保証企画管理部が企画・立案した施策を、毎月の「品質保証本部会議」や年2回開催の「品質保証責任者会議」を通じて周知・推進しています。各本部・部門の「品質保証・製品安全委員会」は、品質保証本部会議や品質保証責任者会議での討議を受け、全社課題をさらにブレークダウンします。品質保証、生産、技術、販売各部署が協力して、品質保証の課題の推進と水準の向上を図っています。



製品安全活動の推進体制

東レ（株）の製品安全活動の推進体制は、下図のとおりです。取締役会で品質保証本部の活動状況の報告を行い、指示を受けて品質保証本部の品質保証企画管理部が施策を企画・立案し、毎年、「製品安全事務局会議」を通じて周知・推進しています。各本部・部門で設置している「本部・部門品質保証・製品安全委員会」は、製品安全事務局会議での討議を受け、東レグループ共通課題をさらにブレークダウンします。当該本部・部門では各々の実行課題を毎年設定し、品質保証、生産、技術、販売各部署が協力して、製品安全管理

の徹底と水準の向上を図っています。2011年度からは東レグループ全体での製品事故の発生や製品安全性審査状況の統計を一元的に把握できる体制を確立しています。

製品安全活動の推進体制図



品質保証および製品安全の自己点検

東レグループでは、2016年度より幅広い統制区分で内部統制点検オンラインシステム（C-MOS）による自己点検を実施しており、品質保証および製品安全についても自己点検を実施しています。自己点検により問題が抽出された場合には是正を図り、レベルアップを図っています。自己点検の実施は3年で一巡し、1巡目の2016年度は東レ（株）、2017年度は国内関係会社、2018年度は海外関係会社を対象に基本的な体制の整備状況について自己点検しました。

2019年度からは2巡目として、実効性が確認できる点検項目を設定し、自己点検を実施しました。2022年度からは3巡目として、ULなど認証の確認項目も設定し、2023年度は国内関係会社の自己点検を実施しました。

「CSRロードマップ 2025」の目標

CSRロードマップ目標

1. 東レグループ全体で品質管理や品質保証、製品安全管理の仕組みをより一層強化します。
2. 製品事故ゼロ件を達成します。

主な取り組みとKPI実績

	KPI
(1) 品質保証コンプライアンス教育の実施を徹底します。	4-①
(2) 東レグループ全体の品質保証体制の改善の推進と継続的な維持・向上のための監査機能を強化し、実効性を確認する監査を実施します。	4-②
(3) 東レグループ全体で、不正防止機能を付与した品質データ管理システムの適用拡大を推進します。	-
(4) 各事業において、品質保証活動における審議／承認・管理システムの構築を推進します。	-
(5) 製品事故件数ゼロを目指します。	4-③

KPI（重要目標達成指標）	目標値			2023年度 実績
	2023年度	2024年度	2025年度	
4-① 品質保証コンプライアンス教育の実施率（人数・%）	100%	100%	100%	100%
4-② 監査実施率（社数・%）	100%	100%	100%	100%
4-③ 製品事故件数	0件	0件	0件	1件※1

報告対象範囲：東レグループ

※1 当社が販売しているエアフィルター濾材において、白粉が発生し、お客様工程で皮膚が赤くなる症状が複数人発生しましたが、症状は軽く市販の塗り薬で完治しました。専門家による原因調査では、白粉発生と発症の因果関係は明確になっていませんが、製品安全事故として対応しました。対策として、エアフィルター濾材を生産している当社の関係会社にて、お客様工程での白粉発生を低減させる生産条件の適用を行いました。対策実施後、同様の症状は発生していません。

■関連マテリアリティ

- 製品の品質と安全性の更なる向上

※ マテリアリティから見た「CSRロードマップ 2025」は[こちら](#)（PDF:1.17MB）[PDF](#) をご覧ください。

今後に向けて

2024年度以降も品質保証と製品の安全に関する個々の改善課題に取り組むとともに、東レグループ全体の管理システムを品質保証と製品安全の両面から強化し続けます。

「CSRロードマップ 2025」（対象期間：2023－2025年度）におけるCSRガイドライン4「製品の品質と安全」の主な取り組みやKPIは[こちら](#)をご覧ください。

CSR活動報告（各CSRガイドラインの活動報告） - 製品の品質と安全

品質保証・製品安全への取り組み

品質保証コンプライアンスの強化

CSRロードマップ2025
主な取り組み(1)(2)(3)(4)

東レグループでは、グループ全体の品質保証コンプライアンス強化のため、主に次の5つの課題に取り組んでいきます。

1. 『品質保証体制のあるべき姿』のガイドラインに基づいた品質保証体制の実現
東レ（株）および国内外関係会社は、各部署が品質保証体制強化に向けて担うべき役割を規定した『品質保証体制のあるべき姿』のガイドラインに準じた品質保証体制を構築し、お客様の要求を確実に満たす品質保証力の維持・強化を図っています。
2. 監査機能強化による東レグループ全体の品質保証力のレベル向上
東レ（株）の各事業を担当するそれぞれの品質保証部署による国内外関係会社の監査、品質保証副本部長・品質保証企画管理部による各品質保証部署の監査、各品質保証部署の相互監査などを確実に実施することにより、東レグループ全体の品質保証力のレベルアップを図っています。
3. 不正をしない人づくりと職場風土の醸成
2020年度より、毎年11月の「品質月間^{※1}」に合わせ、東レグループでも11月を「品質保証コンプライアンス月間」と定め、品質保証コンプライアンス教育を実施しています。東レ（株）および国内外関係会社へ教育資料を提供することにより、各部署・各社が主体的に教育を進めました。（2023年度受講者：22,503名）
4. 品質（保証）に関するお客様との契約の適正化
契約時の指針を定めた品質保証に関する契約のガイドラインに基づき、契約の総点検・見直し・適正化の取り組みを東レ（株）および国内外関係会社に展開し、継続して取り組みを推進しています。
5. 不正をさせない品質データ管理システムの整備
測定の自動化、測定データの自動転送、検査成績書の自動発行など、極力人手が介在しないデータ管理システムの構築を東レ（株）および国内外関係会社にて進めています。

※1 品質意識の高揚などを目的に、1960年から始まった運動で、毎年11月が「品質月間」と定められています。品質月間委員会、（一財）日本科学技術連盟、（一財）日本規格協会、日本商工会議所が主催しています。

品質保証・製品安全教育

CSRロードマップ2025
主な取り組み(1)

品質保証コンプライアンス教育の実施率（人数・％）

■ 報告対象範囲

東レグループ

■ 目標値

2023年度 / 100%

実績値（2023年度）

100%

東レグループでは、11月の「品質保証コンプライアンス月間」に実施する品質データの取り扱いや認証関連業務に携わる全従業員を対象とした品質保証コンプライアンス教育に加え、東レ（株）および国内関係会社の新任部課長層を対象とした「品質保証・製品安全教育」、全社技術研修での品質保証・製品安全活動に関する教育、および実務担当者への品質管理教育を実施し、東レグループの品質保証・製品安全活動の周知徹底ならびに品質管理能力の向上を進めています。また、2013年度からは、東レ（株）および国内外関係会社において、製品安全の一般教育・事業固有教育・自社ルール教育を実施しています。

11月の「品質保証コンプライアンス月間」で実施する品質保証コンプライアンス教育の実施率については、「CSRロードマップ 2025」のKPIとして設定し、活動を推進しています。2023年度は教育を100%実施して、品質保証コンプライアンス意識の向上を図りました。

品質保証に関する監査の実施

CSRロードマップ2025
主な取り組み(2)

監査実施率（社数・％）

■報告対象範囲
東レグループ

■目標値
2023年度 / 100%

実績値（2023年度）

100%

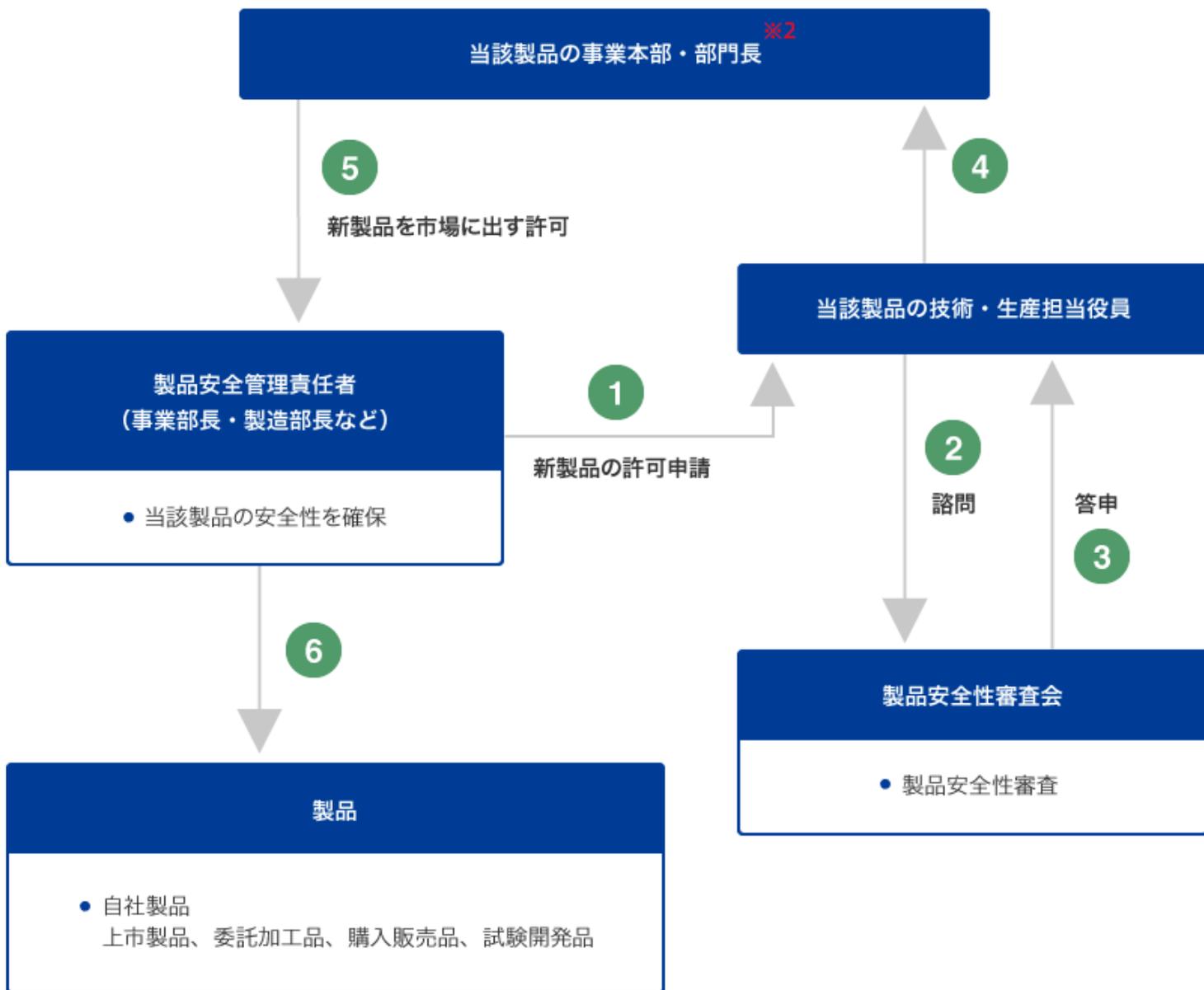
東レ（株）の各事業を担当するそれぞれの品質保証部署による国内外関係会社の監査実施率を「CSRロードマップ 2025」のKPIに設定し、活動を推進しています。2023年度は国内外関係会社について、監査を100%実施し、東レグループ全体の品質保証力のレベル向上を推進しました。

製品安全性審査体制の強化

CSRロードマップ2025
主な取り組み(4)(5)

東レ（株）および東レグループの関係会社は、すべての製品について、製品安全性審査を実施します。審査では、製品そのものの安全性に加え、SDS（安全データシート）や表示ラベル、取扱説明書などお客様に提供する情報の妥当性、製品が地球環境に与える影響度についても確認しています。特に、新製品において新規性の高いもの、従来製品において安全性の観点で大きな変更があるものなどについては、専門知識を有し、かつ、中立な立場の審査委員で構成される「製品安全性審査会」を開催して、製品の安全性を確認する仕組みとしています。また、東レグループで新たに関係会社が設立された場合は、速やかに製品安全体制を構築して、製品安全性審査を実施しています。

すべての製品において製品安全性審査を実施



※2 国内外の関係会社では、社長または担当役員が務めています。

製品事故件数

■報告対象範囲

東レグループ

■目標値

2023年度 / 0件

実績値 (2023年度)

1件※3

※3 当社が販売しているエアフィルター濾材において、白粉が発生し、お客様工程で皮膚が赤くなる症状が複数人発生しましたが、症状は軽く市販の塗り薬で完治しました。専門家による原因調査では、白粉発生と発症の因果関係は明確になっていませんが、製品安全事故として対応しました。対策として、エアフィルター濾材を生産している当社の関係会社にて、お客様工程での白粉発生を低減させる生産条件の適用を行いました。対策実施後、同様の症状は発生していません。

関連情報

過年度に発生した製品安全に関する重要なお知らせ

(リコール社告) 東レ製電気カーペット(回収)～発火のおそれ～

製品安全情報の提供

東レグループでは、さまざまな製品・サービスの特性に応じて製品安全情報を提供しています。

1. お客様窓口の設置

家庭用浄水器、コンタクトレンズなど東レ（株）の代表的な消費生活用品については、フリーダイヤルによる窓口を設置するなど、お問い合わせいただきやすい環境を整備しています。

2. SDS（安全データシート）の作成・提供

東レグループでは、当社が製造または販売する製品のSDSに関する責務、管理体制、および手順について定め、東レグループ製品などの安全な取り扱い情報等を適切にお客様に提供しています。さらにSDSは、ウェブサイトでも開示しお客様にアクセスしやすい情報発信をしています。

3. 製品ラベル・取扱説明書の作成・提供

東レグループでは、製品ラベル・取扱説明書（カタログを含む）に関する責務や管理体制、作成から配布までの手順等を明確にした上で、製品ラベル・取扱説明書を作成し、お客様に提供しています。

「消費者の8つの権利」の尊重

東レグループは、製品・サービスの提供において、お客様に対する基本理念として「消費者の8つの権利」を尊重し、具体的活動の中で、製品の安全性と品質の確保に努めています。

国際消費者機構（CI : Consumers International）が提唱する「消費者の8つの権利」

- 生活のニーズが保証される権利
- 安全への権利
- 情報を与えられる権利
- 選択をする権利
- 意見を聴かれる権利
- 補償を受ける権利
- 消費者教育を受ける権利
- 健全な環境のなかで働き生活する権利

「CSRロードマップ 2025」におけるCSRガイドライン4「製品の品質と安全」の主な取り組みは[こちら](#)をご覧ください。

CSR活動報告（各CSRガイドラインの活動報告） - 製品の品質と安全

ISO9001 認証取得状況

東レグループでは、各製造拠点において適切な品質マネジメントシステムを構築し、品質保証の体制強化に取り組んでいます。

ISO9001 認証取得状況（2024年5月現在）

CSRロードマップ2025
主な取り組み(2)

東レ（株）：全13工場

滋賀、瀬田、愛媛、名古屋、東海、愛知、岡崎、三島、千葉、土浦、岐阜、石川、那須

国内関係会社：25社

- ・ 創和テキスタイル（株）
- ・ 東レ・アムテックス（株）
- ・ 東レ・オベロンテックス（株）
- ・ 東レコーテックス（株）
- ・ 東レ・テキスタイル（株）
- ・ 東レ・デュボン（株）
- ・ 東レハイブリッドコード（株）
- ・ 東レ・モノフィラメント（株）
- ・ 東レプラスチック精工（株）
- ・ 東レペフ加工品（株）
- ・ 東レ・セラニーズ（株）
- ・ 東レKPフィルム（株）
- ・ 東レフィルム加工（株）
- ・ 曾田香料（株）
- ・ ダウ・東レ（株）
- ・ デュボン・東レ・スペシャルティ・マテリアル（株）
- ・ 東レ・ファインケミカル（株）
- ・ 東レ・カーボンマジック（株）
- ・ 水道機工（株）
- ・ 東レエンジニアリング（株）
- ・ 東レ建材（株）
- ・ 東レ建設（株）
- ・ 東レ・プレジジョン（株）
- ・ 東レテクノ（株）
- ・ （株）東レリサーチセンター

海外関係会社：48社	
米州：5社	
アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Fluorofibers (America), Inc. • Toray Plastics (America), Inc. • Zoltek Companies, Inc. • Toray Membrane USA, Inc.
メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Advanced Textile Mexico, S.A. de C.V.
欧州：12社	
イギリス	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Textiles Europe Ltd.
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> • Euro Advanced Carbon Fiber Composites GmbH • Greenerity GmbH
フランス	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Films Europe S.A.S. • Toray Carbon Fibers Europe S.A.
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> • Alcantara S.p.A. • Composite Materials (Italy) s.r.l. • Delta-Tech S.p.A. • Delta-Preg S.p.A.
チェコ	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Textiles Central Europe s.r.o.
ハンガリー	<ul style="list-style-type: none"> • LG Toray Hungary Battery Separator Kft
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> • Toray TCAC Holdings B.V.
中東・アフリカ：1社	
サウジアラビア	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Membrane Middle East LLC
アジア：30社	
東アジア	<ul style="list-style-type: none"> • 東麗合成繊維（南通）有限公司 • 東麗繊維研究所（中国）有限公司 • 東麗高新聚化（南通）有限公司 • 東麗酒伊織染（南通）有限公司 • 東麗塑料（成都）有限公司 • 東麗塑料科技（蘇州）有限公司 • 東麗塑料精密（中山）有限公司 • 東麗塑料（深圳）有限公司 • 東麗薄膜加工（中山）有限公司 • 儀化東麗聚酯薄膜有限公司 • 藍星東麗膜科技（北京）有限公司 • 東麗膜科技（佛山）有限公司 • 東麗先端材料研究開発（中国）有限公司 • 東麗先端薄膜股份有限公司 • Toray Advanced Materials Korea Inc. • Toray Battery Separator Film Korea, Limited • STEMCO, Ltd. • P.T. Acryl Textile Mills
東南アジア	<ul style="list-style-type: none"> • P.T. Century Textile Industry Tbk • P.T. Easterntex • P.T. Indonesia Synthetic Textile Mills • P.T. Indonesia Toray Synthetics • P.T. Toray Polytech Jakarta • Toray Textiles (Thailand) Public Company Limited • Thai Toray Synthetics Co., Ltd. • Toray BASF PBT Resin Sdn. Berhad • Toray Plastics (Malaysia) Sdn. Berhad • Penfabric Sdn. Berhad • Penfibre Sdn. Berhad
南アジア	<ul style="list-style-type: none"> • Toray Industries (India) Private Limited

「CSRロードマップ 2025」におけるCSRガイドライン4「製品の品質と安全」の主な取り組みは[こちら](#)をご覧ください。